

令和3年度 専門学校早稲田国際ビジネスカレッジ事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(担当者：校長 伊藤 信也)

●在籍者数（令和4年5月14日現在）

(単位：名)

課程 学科	文化教養			工業 国際情報	計
	デザイン総合	国際教養	国際コミュニケーション		
入学定員	40	65	20	30	155
収容定員	80	130	40	60	310
1年	13	67	2	36	118
2年	11	37	—	21	69
合計	24	104	2	57	187

※編入学での受入数は2年生に計上（デザイン総合学科3名、国際教養学科16名、国際情報学科12名）

※テキスタイル学科はデザイン総合学科に学科名称変更、国際コミュニケーション学科新設、国際教養学科の入学定員+25名、総定員+50名に定員増加（令和4年1月31日認可）

I. 令和3年度の事業概要

事業目的		達成度
1	(留学生教育) ・March レベル以上の大学合格実績向上 ・新設した大学院クラスを成功させる。	・旧帝国レベル9名、国公立61名、早慶上理ICU18名、GMARCH+関関同立72名
2	(テキスタイル学科) ・日本の伝統文化・技術の習得に留まることなく、その先の就職、大学(院)進学、作家育成にも尽力していく。	・就職者数/就職希望者数 5/6 ・【大学院】京都市立芸術、多摩美術2名、東京造形3名、女子美術、神奈川、名古屋芸術、大阪芸術 【学部】多摩美術、日本、女子美術(3年次編入)、東京工芸、大阪芸術2名、京都芸術 他 ・富岡製糸場で学生作品展示(12月) ・東京造形大学名誉教授 須藤玲子氏特別講座(参加者51名)

II. 令和3年度の取り組み

1. 令和4年度入学生募集活動 <入試状況>

学科	受験者数	入学者数(編入学含む)
テキスタイル	16	16
国際コミュニケーション	3	2
国際教養・国際情報	141	131

<募集活動における課題と改善策>

【テキスタイル学科】

- ・OCなどの来校者数は過去最高の146名も、入学者数が伸びず16名。習い事感覚で来校する高齢の方は入学が見込めないため、コスプレテキスタイルやアクセサリデザインなど若者に人気のあるイベントをオープンキャンパスで取り入れる。

【国際コミュニケーション学科】

- ・中国語コースを新設。精力的に高校訪問(313校)するも「中国語」の需要喚起できず。有名企業のインターンシップ受け入れ先の開拓と新たに「eスポーツコース」を新設する。

【国際教養学科・国際情報学科】

- ・留学生数が激減する中、資料請求数は560件、来校者数は172名と昨年度を上回るが、入学者数が131名と伸びず。大学入試の軟化の影響を受ける。
- ・日本語学校が在籍数を確保するため、進学を勧めないため、中国人進学塾との結びつきを強める。大学進学後も卒業生を就職支援することで他校との差別化を図る。

2. 令和3年度に実施した新たな事業内容の結果と令和4年度への課題

項目	事業内容	令和4年度への課題
(1) テキスタイル学科	富岡製糸場での学生作品展示	テキスタイルのコンクールに出展し、社会的評価を受ける。
(2) 卒業生サポート	サクセスキャリアセミナー	年7回以上、実施（7月～1月）
(3) 学科新設	国際コミュニケーション学科	「中国語コース」の他、「eスポーツ」大会で知名度上げる。交流戦やコーチングを行う。

Ⅲ. 教育成果

1. 主な進学・進路先

<主な進学先>

- ・京都市立藝術大学大学院1名、多摩美術大学大学院1名、東京造形大学大学院3名、名古屋芸術大学大学院1名、女子美術大学大学院1名、大阪芸術大学大学院1名、女子美術大学（3年次編入）1名、成安造形大学（3年次編入）1名、多摩美術大学1名、日本大学芸術学部1名、京都芸術大学1名、大阪芸術大学1名 他

<主な就職先>

- ・カジレーネ（株）1名、小野江織物（株）1名、茶久染色（株）1名、（株）ひかり印刷1名、金田染工場1名

2. 課題と改善策

(1) 【国際教養学科・国際情報学科】

早稲田大学及び慶應大学の合格者数減の原因はTOEFLの点数が足りないため。特に早稲田大学は5月までにTOEFLを受検し出願しないといけないため、令和4年度は入学前からの準備講座を実施。

(2) 【テキスタイル学科】

テキスタイルを学ぶ留学生の大学（院）進学希望者が増えているため、大学受験対策講座を開講。テキスタイル学科を設置している美術系大学の指定校推薦枠獲得を目指す。

以上